

すつていても、かならず一方的なシワヨセや犠牲を強制される」という討議をおこなったが、そのこの全経過はまさにそのとおりに進行している。

能率が引き上げられる際に、結局のところわれわれの労働強化が伴わないことはないし、会社側が利潤拡大を至上目的とする以上は、能率引き上げ（コスト引き下げ）がつきつきに追及され、果しない労働強化が強制される。

この労働強化が、首切り・賃下げ・職制支配の強化・労働者の無権利状態などから、ついには労働災害を多発させることになるが、三池大変災はもつとも端的にこの事実をバクロしている。

したがって、必ず労働者階級の抵抗を助長し、反合理化斗争を發展・強化させることになるのである。これは資本主義的合理化の本質的矛盾である。

#### ⑨ 出炭低下の潜在的原因

つまり、出炭低下の原因には労働者の命を守るという、やむにやまれぬ抵抗斗争が内在していることになる。しかし、合理化の矛盾としての抵抗斗争は、何も労働者階級だけのものではなく、たとえば国家の合理化政策である高度経済成長の結果に対する国民諸階層の不満や抵抗としてあらわれてい

ることを正視しよう。そのうえ、三井鉱山は現行諸法規のワクの中できえ不法として許されない殺人的保安サボや不当労働行為や人権じゆうりんなどを強行してはばからないのであるが、それはなにも三池労組員に対する不法性ではなく、実際には第二組合員・試用員諸君に対してもまったく同じような不法が強制されているのである。

このような矛盾と不法性の内在や横行が、三池炭鉱全労働者に対し「貧乏なうえに安心して働けない。いつ殺されるかわからない」という不満と不安をおつかぶせていることが、出炭低下の潜在的原因となつてい

ることを、敢えてわれわれは明らかにする。

註① ①資本主義態勢下の合理化の矛盾。

② 社会主義態勢下の合理化はどうか。

## 2、われわれの抵抗斗争の成果

しかし、前項のとおり、いくら合理化そのものに矛盾が内在し、会社側の政策に不法性があつても、それがひどければひどいほど、資本主義全体としての態勢の力で、その矛盾と不法性はたえず強力にいんべいされ、ごまかされていることも周知のとおりである。

つまり、是が非でも合理化は強行され、出炭は確保されるように仕向けられるのであるから、強力な抵抗斗争が実践され成果を上げないかぎり、労働者は泣き寝入りを強制されつづけるだけである。

#### ④ 三池労組員の抵抗の成果

しかし、われわれは命と生活と民主的諸権利を守るという正当な要求にたち、反合理化・抵抗斗争に確信をもつて、頑強に、たたかいぬいてきた。たとえば、週一回の方別ストを頂点とするねばりつよい職場の抵抗斗争は、強力な弾圧に屈せず、収入減に耐え、すでに四年間も積み上げられてきたが、はじめは効力なしといつていた会社側が、ついに方別ストの影響を認めざるを得なくなり、その「中止」を口にするようになった。

#### ⑤ 抵抗による矛盾拡大

この三池労組員の正当で果敢な抵抗斗争によつてこそ、前期のように合理化に内在する矛盾をバクロシ、拡大することが可能となる。

まだ不十分ではあるが、第二組合員・試用員・組夫諸君に対するわれわれの真剣なはたらきかけは第二組合幹部の反労働者的工作を後退させ、ある程度

の同調が期待できるまでになった。抵抗による矛盾のバクロと拡大が、われわれの抵抗斗争により前進しつつある。職場で三池労組員の抵抗斗争を支持する者がふえ、いまや幹部に対する第二組合員諸君の不信と不満もけつして小さいものではなく、幹部間の内部抗争も激化しつつある。

三池労組員の抵抗斗争は、自分だけが頑強にたたかうばかりでなく、このような階級性をもつて着実に發展されている。その結果として、不法で身勝手な出炭計画が重大な影響をうけ、三池炭鉱における出炭低下となつてい

るのである。これは要するに、三池労組員とその家族による抵抗斗争の成果といわねばならない。

## 3、反合理化斗争の正しさを確認しよう

以上にみた通り、労働者の命と生活と民主的諸権利を守る正しいたたかいが、われわれの反合理化斗争であり、それは三池で着々と成果をあげ、また全国の仲間たちの反合理化斗争も大きく前進しはじめてい

る出炭低下をめぐる、会社側および第二組合幹部の中傷やインチキなお説教が、こんご激しくなる。たろうが、われわれはこれをハネかえさねばならない。出炭低下の責任は、一〇〇%まづたく会社側にある。出炭低下の原因は、会社側の不法性と資本主義的合